

Rust Proof 重防食に匹敵 1液水性変性エポキシ下塗り剤



水性・油性強溶剤も塗布可能
錆止めプライマーが水性に

塩水噴霧試験 試験期間 埼玉県産業技術センター

埼玉県産業技術センター試験で重防食に匹敵する防錆効果を確認

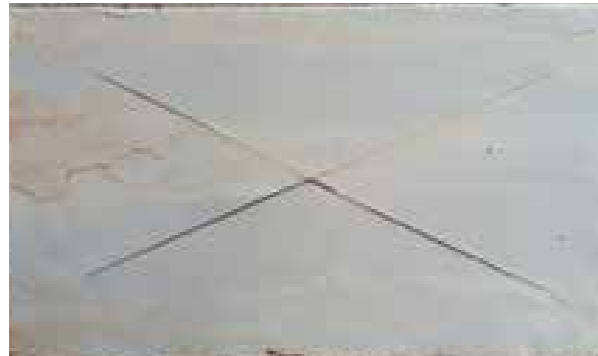
下塗り剤 Rust Proof：有

下塗り剤：無し

時間
0時間



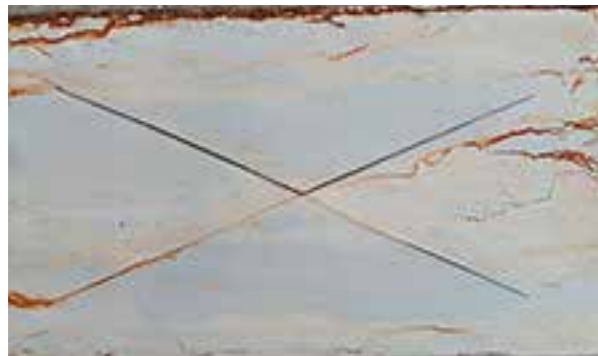
時間
720時間



時間
910時間



時間
1160時間



錆止め塗装の代わりに Rust Proof



階段の再塗装の下塗りに



Rust Proof

金属特に鉄は、機能に比較して安価であることから現在の建築物を支える材料です。ただ水分、特に塩分と空気と接すると錆びることが唯一の欠点です。その対策としては、重防食の分野では塗装膜厚を大きくする犠牲防食等に対応しております。住宅等建築分野や自動車分野では錆止め剤を塗布したり、溶剤系のエポキシ錆止めを使用しているのが主流です。しかし、今般の環境から溶剤系ではなく水系の移行が求められています。

錆止め塗料は固形成分が少ないため、その上に下塗り剤を塗布する必要があり、錆止め剤と下塗り剤をセットで使うことが一般的です。

Rust Proof は、水系であり簡易型の防錆下塗りですがその効果は、重防食に匹敵します。

その為、一般建築物では従来の錆止めの下塗り剤と上塗り剤2回に対し、下塗り剤 Rust Proof と上塗り剤2回は、優れた重防食に匹敵する施工結果が得られ、安心して利用出来る施工方法です。

- ※■特徴 1) 施工は、環境にやさしく、臭気のない水性下塗り剤
- 2) 非危険物であるため火災に対する安全性が高い
- 3) 溶剤系2液下塗り剤に匹敵する防食性を有する
- 4) 有害物質を含有していない
- 5) PRTR 等対象物及び特定化学物質を含有していない

※■希釈量・基本はなし、現場によって水で希釈可能

※■乾燥時間

触感乾燥：5時間以上 完全2-3日程度（25℃）（効果発現）

※■使用方法

布、吹き付け、刷毛（短毛ローラー） 100-150 g/m²（標準施工1-2回塗り）

塗布量が多く必要な場合（凹凸の場合）は、1回目塗布後、2-3時間位放置し、2回目塗布。必要に応じ、これを繰り返す。また、同量塗布の場合、1回塗布より、薄く2回塗布した方が、きれいに仕上がります。

※■施工注意事項

密着不良は、基材に油、汚れがあると起こります。脱脂を十分行って下さい。

※■適応基材

鉄、ステンレス等の非金属